

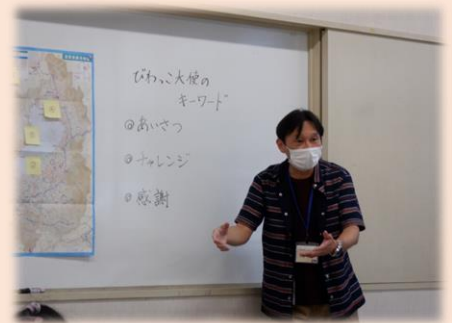
# 令和4年度ラムサールびわっこ大使活動記録



次世代の環境リーダーを育成する目的で2008年より実施されている滋賀県のラムサールびわっこ大使事業。令和4年度は、滋賀県内の小学5,6年生から10名の大使が選出され、滋賀県内での4回にわたる事前学習を通じて、滋賀県の豊かな自然と、そこに暮らす人々の暮らしや文化、伝統を学びました。また、福井県三方五湖への県外派遣においては、現地の子どもラムサールクラブとの交流を通じて滋賀県の魅力を再発見すると同時に、それぞれの地域で環境を守ろうと活動する方々がいることを知りました。

先日、2月25日に滋賀県副知事への活動報告を実施して、本年度の活動を終了しました。ここで、1年間のびわっこ大使の活動をご紹介します。

## ～第1回事前学習会（2022年7月2日：滋賀県大津合同庁舎7C会議室）～



びわっこ大使に関わるスタッフの紹介をさせて頂いた後、令和4年度のびわっこ大使に任命状が授与され、大使たちはお互いに自己紹介をして仲を深めました。

びわっこ大使のキーワードは「あいさつ」、「チャレンジ」、「感謝」です。

その後、琵琶湖やラムサール条約について基礎学習を行いました。

第2回事前学習からは、いよいよフィールドに出での活動が始まります。

<参加者>びわっこ大使10名/顧問・講師4名/県関係者2名/財団2名

## ～第2回事前学習会（2022年7月22日：滋賀県近江八幡市沖島）～



世界的にも珍しい、日本で唯一湖に人が暮らす島である沖島を訪問し、漁師の方に教えてもらいながら、滋賀県の伝統料理である鮒ずし漬け体験を行いました。手間が掛かって大変な作業なのに、今も受け継がれていることが素晴らしいと感じ、沖島で暮らす人たちのような、琵琶湖の文化や生活を守っていききたいと思える体験でした。

大使が漬けた鮒ずし樽は、11月23日の第3回（代替行事）事前学習会にて開封を行い、各自持ち帰りました。

<参加者>びわっこ大使10名/顧問・講師2名/県関係者3名/財団3名

## ～第4回事前学習会（2022年10月29日：滋賀県長浜市）～

※9/19に予定していた第3回事前学習会は台風の影響で11月に延期



湖北野鳥センターで水鳥の観察を行いました。琵琶湖は水鳥の重要な生息地となっており、こうした重要な湿地の保全を促進することを目的とした国際的な取り決めを「ラムサール条約」と言います。琵琶湖は1993年に日本で9番目のラムサール条約登録湿地となりました。琵琶湖を綺麗に保ち、水鳥たちを守っていききたいと思える体験でした。また、早崎内湖では胴長を履いて、「ガサガサ」で生き物観察も行いました。

<参加者>びわっこ大使10名/講師3名/県関係者4名/財団3名

## ～第3回（代替行事）事前学習会（2022年11月23日：滋賀県高島市）～



高島市新旭町の針江集落で、人と水の関りを学びました。各家々には水が湧き出る場所があり、「かばた」と呼ばれています。かばたから湧き出る水は人々の生活に欠かせないものとなっており、「生水（しょうず）」と呼ばれていることを知りました。針江集落に住んでいる人は、この水辺環境を誇りに思っていることが分かり、琵琶湖がある滋賀県の身近な自然環境を誇りに思い、たくさんの人に知ってもらって守っていききたいと思いました。

<参加者>びわっこ大使10名/講師1名/県関係者2名/財団3名

## ～世代間交流会（2022年8月28日：滋賀県庁新館7F大会議室）～



びわっこ大使の先輩との交流会では、15名の先輩が参加してくれ、「MLGs」をテーマに議論しました。琵琶湖と共生していくために自分が何を大切にしたいかを考える良い機会となりました。

<参加者>びわっこ大使10名/びわっこ大使OB・OG15名/顧問・講師4名/県関係者2名/財団3名

## ～県外派遣（2022年12月16日～18日：福井県三方五湖）～



### 〇1日目

レインボーライン山頂公園から三方五湖全体を観察しながら、魚類や漁のお話を聞きました。そして、三方湖、久々子湖、そして日本海で塩分濃度の計測を行い、その違いを肌で感じました。その後、若狭三方縄文博物館で縄文時代の暮らしを学び、古くから湖と人が関わっていたことが分かりました。

### 〇2日目

三方五湖子どもラムサールクラブと交流をしました。三方湖では水鳥を、近くの田んぼではハクチョウを観察しました。また、それぞれの活動について発表を行い、琵琶湖の価値を伝えるとともに、福井県の自然の素晴らしさを知ることができました。



### 〇3日目

荒天のため、たたき網漁体験は出来ませんでした。その分漁師さんから漁や漁具に関するお話を沢山聞きました。網の目を大きくして魚を獲り過ぎない工夫をしており、三方湖の魚を大切にしていることが分かりました。

滋賀県と福井県、琵琶湖と三方五湖で違うところや似ているところがたくさん見つかりました。その中で、大切な湖を守りたいと活躍する人たちがいることが共通していることだと分かりました。それは、漁師さんや地元の方、そしてびわっこ大使や子どもラムサールクラブのような存在です。豊かな自然環境を未来に繋げられるように、これからも琵琶湖の価値を学び、伝えていきたいと思いました。

<参加者>びわっこ大使9名/講師1名/県関係者3名/財団3名

## ～副知事活動報告会（2023年2月25日：滋賀県庁新館7F大会議室）～



びわっこ大使としての1年間の活動内容を滋賀県の江島副知事へ報告させて頂きました。また、沖島で漬けた鮎ずしも贈呈しました。副知事との対談では、「素晴らしい活動報告でした。小学校を卒業しても、びわっこ大使で経験したことを忘れないで下さい。」という言葉頂きました。

<参加者>びわっこ大使10名/顧問・講師4名/江島副知事・高木琵琶湖環境部長・他県関係者3名/財団3名



**1年間本当にお疲れさまでした！！**

